

# 令和7年度分 発達に関する相談支援事業 自己評価表

(事業所名) 子ども発達総合支援センター

(公表日) 令和8年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
家族の本人の意思等の把握	1	子どもやその家族の意思を尊重し、常に確認して支援している。	<input type="radio"/>		予約の段階で、子どもや家族の意思の尊重と確認をしっかりと行えるよう、正確な聴き取りに努めています。また、聞き取った内容の要点をまとめ、再確認もしています。
	2	子どもやその家族が置かれている環境及び生活行動を確認している。	<input type="radio"/>		子どもや家族の生活環境・生活行動を丁寧に聞き取るとともに、必要に応じて園や学校での観察も行い、状況を確認しています。安心して生活を送れるよう園や学校、子ども家庭センターとも連携を図っています。
	3	子どもが抱える課題や家族の支援ニーズを把握している。	<input type="radio"/>		子どもの抱える困りごととは何か、家族の思いをしっかりと聞き取り、その中からでてくる課題やニーズを家族とともに共有し、支援の方法も一緒に考えています。必要に応じて園や学校、関係機関などからも情報収集を行っています。
	4	子どもやその家族等にかかる心身の状態を把握している。	<input type="radio"/>		相手の声のトーンや表情から言葉がけや相づち等を行い、睡眠や食事についても具体的に聞き取るよう努めています。また、子どもや家族だけでなく、関係機関から幅広く情報を収集しています。
本人の主訴	5	子どもの主訴を把握している。	<input type="radio"/>		対象となる子どもが小さい場合、保護者の主訴が中心となることもあり、また保護者のみでの相談は園や学校での姿が十分把握されていない場合もあるため、保護者との相談後に事後フォローを重ねながら、主訴の把握に努めています。また、子ども本人だけでなく、保護者や関係機関からも幅広く情報を収集する一方、保護者や教員からの聴き取りだけに頼らず、行動観察を実施しています。
	6	主訴に関するアセスメントを行い対応している。	<input type="radio"/>		発達検査や知能検査を実施し、行動観察を含めた多角的なアセスメントを行っています。また観察結果、検査結果、過去の記録を併せて分析し、包括的な対応を図っています。
管 支 援 記 録 と 活 用	7	支援の進捗状況を把握し、支援記録を整理・保管している。	<input type="radio"/>		個人別に作成したシスホルダーに支援内容等情報をまとめ、学年別・50音順に色分け整理し、誰もが情報を収集し、対応できるようにしています。
	8	支援記録を活用し対応している。	<input type="radio"/>		発達相談時や行動観察時に各担当者が記録を確認できるよう、個別に作成されたシスホルダーに相談内容等の記録を集約し、情報の把握に活用しています。
	9	個人情報の管理を徹底している。	<input type="radio"/>		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、病院などからの情報提供依頼は保護者の同意を得た後、共有しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関との連携協働	10	関係機関へのつなぎは、相談者本人の同意を得ている。	○		相談者に伝え方も確認し、同意を得たうえで、関係機関に繋いでいます。
	11	関係機関との連携協働及び情報共有を実施している。	○		必要に応じて、関係機関と連携を図り、情報共有を図っています。学校や通級指導教室等と密に連携し、センターの方向性も伝えた上で、支援方法を検討しています。
	12	こどもが通園通学している保育園、幼稚園及び小中学校等に訪問して、必要とする相談支援を行っている。	○		必要に応じて、こどもの様子を訪問し確認しています。園からの依頼により巡回相談を、児童生徒には育ちネットワーク相談のほか、保護者や学校からの依頼に応じて観察に出向き、園や学校とともに、こどもにとってよりよい支援につながるよう心がけています。
	13	個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成活用を図るため、市教育委員会等関係機関との連携協働に努めている。	○		学校での観察時に気づいた点や可能な支援を個別の指導計画に記入し、担任教諭に示しています。学校と保護者が同じ方向で支援するためのツールであることを知らせ、書き方を助言するほか、個別の「教育支援計画」説明会も行い、周知と連携に努めています。
資質向上	14	支援に関わる関係機関の職員について、専門性を高めるため、研修講座の開催や、当センター職員の派遣を行っている。	○		参加しやすい日時設定、日々の業務に活用できる内容を検討し、特別支援教育に携わる教員等を対象とした連続講座(4回構成)、療育支援系の言語聴覚士や作業療法士の専門性を活かした研修会等を開催しました。また、学校からの校内研修会等にも職員の派遣を行い、資質向上に努めました。
	15	必要に応じて、関係機関の研修事業や、外部講師を招いた勉強会などに参加し、支援の質的向上を図っている。	○		センター内外を問わず、関係機関の実施する研修に参加しています。また、当センターに外部講師を招いて研修を実施した際には、両係が参加できるよう日程を調整し、支援の質の向上に努めました。
施設運営	16	支援センターの事業運営に関する会議に参加している。	○		役職や職責に応じて、役職者会議や職種別会議、係内会議などに各自が参加し、センターの事業運営や状況にかかる共有に努めています。
	17	施設設備、各種備品の状態を常に確認し、安全確保に努めている。	○		使用前には備品や設備の確認を行い、破損や老朽化による危険個所がないか、安全確認を行っています。